

令和 3 年 度

東京都における小中学校施設の現状

(令和 3 年 5 月 1 日現在)



品川区立鮫浜小学校

東京都教育庁地域教育支援部

目 次

令和3年度 施設紹介	
品川区立鮫浜小学校	1
区市町村立小中学校施設の現状	
(「3 運動場舗装状況」以下は、区市町村からの回答に基づく。)	
1 公立学校数等	9
2 校舎・校地保有状況	
小学校	10
中学校	11
義務教育学校・幼稚園	12
合 計	13
校舎の保有状況	14
校地の保有状況	15
3 運動場舗装状況	
小学校	16
中学校	17
義務教育学校	18
幼稚園	19
4 鉄筋校舎保有状況(小・中学校)	20
5 木造校舎における教室の保有状況	21
6 特色ある学校施設の紹介	22
7 他の施設と複合している学校	24
8 環境を考慮した学校施設整備の状況	27
整備タイプ別の説明と実例の紹介	
(令和2年度～令和3年度整備(予定も含む。))	28
9 学校施設のバリアフリー設備整備状況	
小学校	34
中学校	35
義務教育学校	36
10 学校施設の開放状況	
小学校	37
中学校	40
義務教育学校	42
11 公立学校施設の耐震化状況	43
国庫負担金等関係参考資料	
1 公立文教施設整備費に係る助成制度の変遷	44
2 児童・生徒急増区市町村	54

品川区立鮫浜小学校

【計画の背景】

品川区立鮫浜小学校は周辺駅や国道沿いのマンション開発で児童数の増加が見込まれること、また施設も老朽化していることから建替えを行う必要性が生じた。

【施設整備方針】（基本コンセプト）

メインテーマ

「歴史・環境・機能の継承と地域力が融合する次代のスクール」

1. 歴史を受け継ぎ地域と繋がる緑豊かな居場所づくり

- ・ 記念樹のイチョウやケヤキをシンボルとした交流テラスで、児童と地域を繋ぐ憩いの場を創出する。
- ・ 鉄道高架下を挟む敷地を一体的に整備し、児童や地域が生き生きと活動できる緑豊かな広いグラウンドを確保する。

2. 将来を見据えた新たな教育の場づくり

- ・ ICT（情報通信技術）による教育環境を整備し、主体的・協働的な学びができるフレキシブルな校舎とする。

3. 環境に配慮し地域にもやさしいエコスクールづくり

- ・ 自然エネルギーの活用や省エネルギー化など、環境教材が体感・実感できる校舎とする。
- ・ 狭小な敷地を有効活用した校舎配置や、敷地外周部の緑化により、良好な周辺環境に配慮する。

4. 子どもたちや地域にとって安全・安心な施設づくり

- ・ 児童の安全を見守るため、大人の目が行き届く管理諸室を配置する。
- ・ 道路に沿って歩道状スペースを設け、児童の通学や歩行者の安全を確保する。
- ・ 十分な耐震性を確保し、災害時にも避難場所となるよう防災機能の充実を図る。

【本校の特色】

鮫浜小学校は、品川区東大井の南側に位置し、京浜急行電鉄本線の立会川駅と鮫洲駅から徒歩約6分圏内の住宅地の中にある。周辺は、昔ながらの風情ある街並みが残る旧東海道と、京浜急行電鉄を挟んで国道15号線沿いのマンション建設が進む新しい街がある。

敷地内には、地域のシンボルとなるイチョウの木があり、品川区の保存樹木として地域住民からも親しまれている。

「歴史・環境・機能の継承と地域力が融合する次代のスクール」をテーマに、子どもたちの学習活動を第一に考えた、新旧住民・多世代の交流の場となる新しい“まち”の拠点づくりとした。

【施設概要】

- ・建物名称 : 品川区立鮫浜小学校
- ・所在地 : 東京都品川区東大井 2-10-14
- ・面積 : 敷地面積 7,202.99 m²
建築面積 2,001.81 m²
延床面積 6,622.96 m²
- ・構造・規模 : 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階 地上4階建
- ・学校施設 : 各学年3クラスの18学級（各教室40人想定、最大予想児童数720人）
特別支援教室 1学級、体育館、プール（25m5コース）
- ・工事費 : 4,147,000千円
- ・工期 : 令和元年7月～令和4年5月
令和3年7月 新校舎完成
令和4年5月 外構（グラウンド）完成予定
- ・設計監理 : 株式会社 INA 新建築研究所
- ・工事施工者 : 熊谷・大洋・圓山建設共同企業体（建築）
振興・サンコー建設共同企業体（電気設備）
太洋・三協建設共同企業体（機械設備）

【施設の基本的な計画】

- ・1学年3クラスの18学級を想定し、普通教室を配置した。廊下はワークスペースとしても活用できるように計画し、教室と合わせて一つの学習空間となるようにした。
- ・学校全体を一つの総合学習スペースとして捉え、異学年交流と外部空間との連携を図る計画とした。
- ・管理関係諸室・普通教室・特別教室・体育館をフロア毎に明快にゾーニングし、分かりやすく使いやすい計画とした。
- ・京浜急行電鉄の高架に隣接するため、鉄道騒音から教室を遠ざけるゾーニングとした。
- ・普通教室は南東配置とし自然採光・自然通風の確保に配慮した。
- ・特別教室は北側に配置し、それぞれの室の特性に沿った使いやすい計画とした。
- ・特別支援教室は、保健室、カウンセリング室に近接させ、教室に通う児童に合わせて対応が出来るよう環境を整備した。
- ・職員室、校長室、事務室、保健室はグラウンドと正門を見渡す位置とし、子どもたちの日常に目が行き届く計画とした。
- ・保健室は怪我や救急車対応のため、グラウンドに面して配置した。
- ・主事室は地域開放門に面して配置し、開放時の一元管理を行う計画とした。
- ・給食室は京浜急行電鉄の高架下のバックヤードから搬入しやすい位置に配置した。
- ・体育館とプールを積層して配置し、建物の高さを抑えた計画とした。また、京浜急行電鉄側をステージとし、開口部を設けない計画で、鉄道騒音に配慮した。
- ・フロアカラーとして、品川区で行われている「蝶の道」プロジェクト（蝶を増やして自然を再生しようという活動）の中で鮫浜小学校に植えられている植物から着想した日本の伝統色を選定した。

【施設整備計画】

●施設計画

○校舎計画と周辺環境への配慮

- ・教室と体育館、プールを一体にしたコンパクトな計画とし、敷地外周に1.5mの歩道状スペースを整備することで児童の安全な通学動線と地域の利便性を確保した。また、グラウンドは敷地北側に配置し、北側住宅への日影の影響を最小限にした。

○グラウンド計画

- ・新校舎は敷地南側に集約、北側に広いグラウンドをとることで、100mトラック、50m走路を確保した。さらに、グラウンド周囲に屋外倉庫、遊具、学級菜園を配置し児童の屋外活動の場を計画した。

○緑地計画

- ・歩道状スペース沿いに緑地を設け、緑豊かな環境とした。また、既存樹のイチョウとケヤキを保存し、学校の歴史を継承した。保存樹木の周りにイチョウテラス、ケヤキテラスを設け、環境教育の場とした。

○動線計画

- ・正門は既存の東門を再整備し、歩道状スペースを利用してアプローチする。
- ・昇降口は、正門からの視認性、グラウンドへのアクセスに配慮した、避難上も有効な位置とした。



地域開放門 正面



外観 南東側

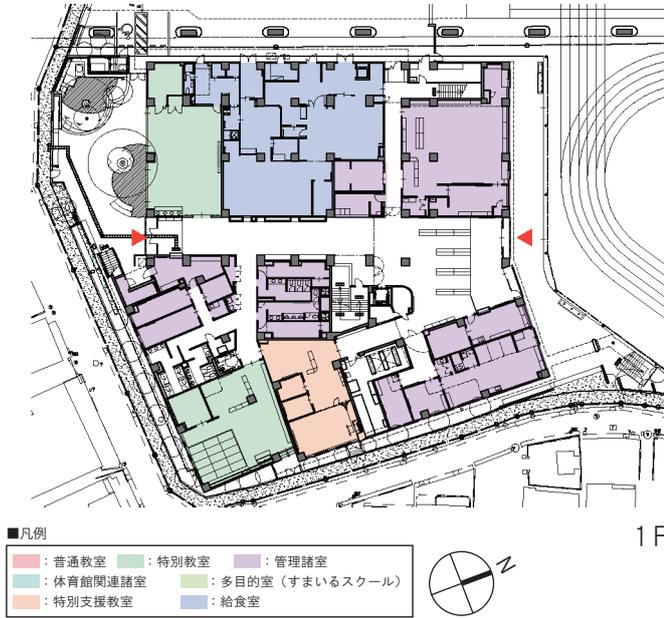


【1F】

鮫浜ギャラリーは、木ルーバーを壁・天井に設えた木の温もりを感じられる展示ギャラリーとし、児童の制作物や自由研究など学習成果を校内や地域へ発表できる場とした。

鮫浜ホールは学校と地域をつなぐ協働学習の場として、地域イベントや選挙の投票所、近隣校との合同授業に活用でき、イチョウテラスとの一体利用も可能な計画とした。

(平面図)



昇降口



鮫浜ギャラリー



鮫浜ホール



多目的室 (すまいるスクール)



放送室



1階ホール フロアカラー：黄丹（マリーゴールド）
おうに



特別支援教室



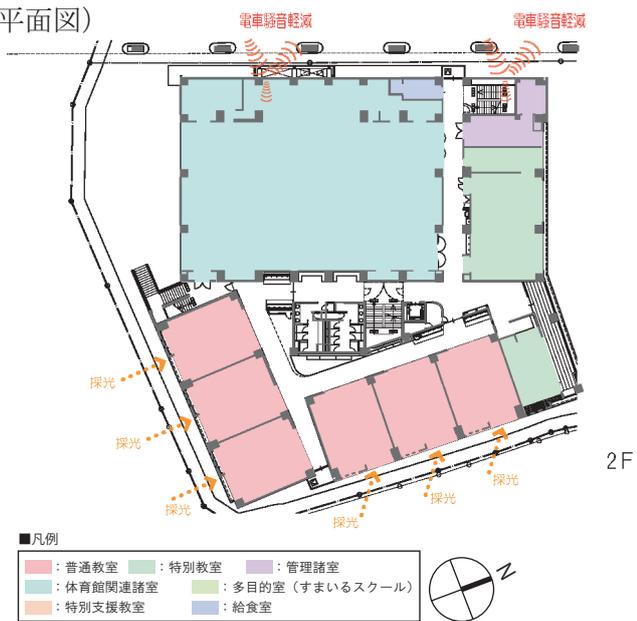
【2F】

2階には臨海部近くの津波の影響に配慮し、災害時の避難所としての機能も持つ体育館を配置した。

音楽室は近隣住宅から離れた位置に配置し、学校騒音の軽減に配慮した。体育館と隣接させることで演奏練習や学芸会のリハーサルなどの連携利用ができる計画とした。

普通教室は2階～4階の南東側に配置し、自然採光・自然通風の確保に配慮した。また、各学年ユニットにコモンスペース（水場、ワークスペース）を設けることで、様々な学習形態に対応できる計画とした。

(平面図)



体育館



音楽室



普通教室



2階ホール フロアカラー：柳葉色（アシタバ）
やなぎは



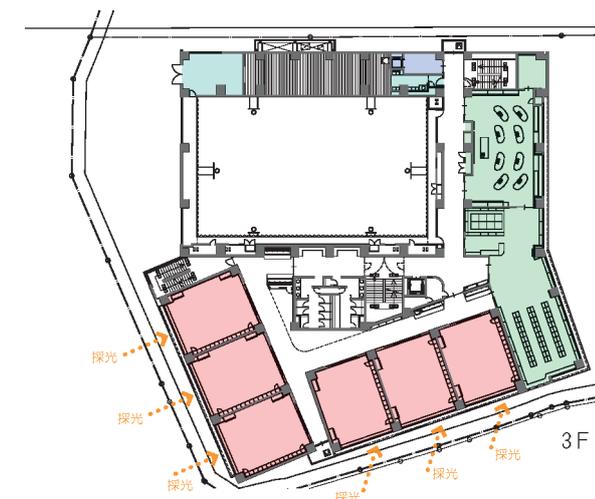
2階廊下 ワークスペース



【3F】

メディアセンターと理科室は、児童が利用しやすい学校の中心である3階に配置し、調べ学習に対応できるサイエンス・メディアセンターとして計画した。書架ゾーンの近くに学習スタイルに合わせた個人学習・グループ学習スペースを設けた。理科室は廊下側に展示棚や情報コーナーを設けることで教室内だけではなく、廊下まで広がりを持った学習連携を可能とした。

(平面図)



■凡例

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 体育館関連諸室
- 多目的室（すまいるスクール）
- 特別支援教室
- 給食室



理科室



メディアセンター



読み聞かせコーナー



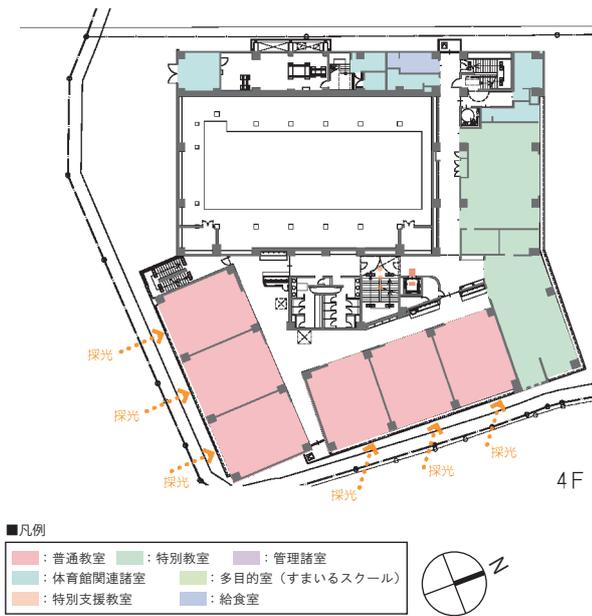
3階ホール フロアカラー：蘇すおう色（ウマノスズクサ） 3階廊下 ワークスペース



【4F】

高学年主体の家庭科室、図工室は4階に配置した。可動の作業台とすることで、作業内容に応じたフレキシブルな利用ができる計画とした。

(平面図)



4階階段



家庭科室



図工室



4階ホール フロアカラー：錆桔梗色（スマイレ）
さびききょう



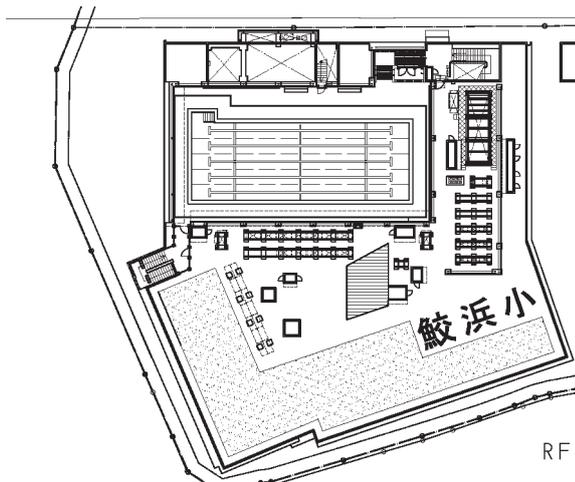
4階廊下 少人数学習コーナー



【RF】

プールは、グラウンドの面積を広くとるために、屋上に設置した。
また、屋上緑化を設け、屋根面への熱負荷軽減に配慮した。

(平面図)



■凡例

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 体育館関連諸室
- 多目的室 (すまいるスクール)
- 特別支援教室
- 給食室



屋上緑化



プール



シャワー

